

審査項目別評価値一覧(業務名:公園内のイノシシ被害軽減のための獣害対策支援業務)1次審査(書面審査)

審査項目	基本的な考え方	必須提案技術	自由提案技術	実施スケジュール	県内企業	委託費計画書	合計点数
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書等を適切に理解し、提案者が本業務を遂行する上での基本的な考え方が示されているか。 目指す姿に向けた方向性が示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 必須提案は、イノシシの行動履歴・個体情報等の提供のみとなっておらず、実施主体が対策にあたっての有益な情報(生態学的知見等による分析内容、対策の実施箇所・内容・優先順位等)の提供となっているかどうか。 想定している活用方法(有益情報を各実施主体がどのように活用できるかなど)は妥当か。 必須提案技術は、IoTやドローン等の新技術を効果的に活用して、革新性・他の施設への展開性がある提案になっているか。 実証実験の内容が適切に示され、実験方法が明確かつ実現性をもって示されているか。 計画に位置付ける獣害対策が1種類だけの場合は失格とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ※必須提案技術の評価基準に準じる。 ※技術の提案数も評価の対象とする。 ※必須提案技術で評価した内容については重複して評価しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 提案技術と実施スケジュールの整合がとれたものとなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 広島県内に主たる事業所があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 次の算定式で委託費計画書の提案期間に係る総額から評価する。 配点(10)×(提案者中の最低額)÷(当該提案者の額) 小数点第2位以下を四捨五入 発注者が示す上限額を超過する場合は失格とする。 上限額 履行期間内(実証実験) 250万円 履行期間後(検証改善業務)年間250万円 	
株式会社電信	19.0	26.4	10.8	9.9	3.0	8.4	77.5
株式会社ダイクレ	11.5	18.4	10.0	7.5	5.0	8.4	60.8
李 匡祐	12.5	17.6	0.0	6.9	5.0	4.4	46.4
株式会社DMM Agri Innovation	16.5	28.0	15.2	9.0	3.0	4.3	76.0
国立大学法人広島大学	18.5	26.4	14.8	9.0	5.0	6.2	79.9
株式会社野生動物保護管理事務所	19.0	33.6	15.2	11.1	3.0	4.2	86.1
株式会社エネルギー・コミュニケーションズ	15.0	22.4	11.2	9.0	5.0	4.9	67.5
株式会社ウエスコ 広島支社	16.5	24.0	0.0	8.4	3.0	5.6	57.5
株式会社日立製作所 中国支社	17.5	24.0	10.0	9.0	3.0	5.6	69.1
株式会社ミックス	17.5	21.6	12.8	9.0	5.0	5.6	71.5
菱電商事株式会社	14.0	22.4	0.0	7.5	3.0	10.0	56.9
ルーチェサーチ株式会社	11.5	21.6	10.0	7.5	5.0	9.7	65.3
株式会社エブリプラン 中国支社	15.0	24.0	12.0	8.4	3.0	8.5	70.9

※1次審査と2次審査では審査方法が異なるため、評価値のみの単純比較はできません。

審査項目別評価値一覧(業務名:公園内のイノシシ被害軽減のための獣害対策支援業務)2次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)

審査項目	基本的な考え方	必須提案技術	自由提案技術	実施スケジュール	県内企業	委託費計画書	合計点数
審査基準	<ul style="list-style-type: none"> 仕様書等を適切に理解し、提案者が本業務を遂行する上での基本的な考え方が示されているか。 目指す姿に向けた方向性が示されているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 必須提案は、イノシシの行動履歴・個体情報等の提供のみとなっておらず、実施主体が対策にあたっての有益な情報(生態学的知見等による分析内容、対策の実施箇所・内容・優先順位等)の提供となっているかどうか。 想定している活用方法(有益情報を各実施主体がどのように活用できるかなど)は妥当か。 必須提案技術は、IoTやドローン等の新技術を効果的に活用して、革新性・他の施設への展開性がある提案になっているか。 実証実験の内容が適切に示され、実験方法が明確かつ実現性をもって示されているか。 計画に位置付ける獣害対策が1種類だけの場合は失格とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ※必須提案技術の評価基準に準じる。 ※技術の提案数も評価の対象とする。 ※必須提案技術で評価した内容については重複して評価しない。 	<ul style="list-style-type: none"> 提案技術と実施スケジュールの整合性がとれたものとなっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> 広島県内に主たる事業所があるか。 	<ul style="list-style-type: none"> 次の算定式で委託費計画書の提案期間に係る総額から評価する。 配点(10)×(提案者中の最低額)÷(当該提案者の額) 小数点第2位以下を四捨五入 発注者が示す上限額を超過する場合は失格とする。 上限額 履行期間内(実証実験) 250万円 履行期間後(検証改善業務)年間250万円 	
株式会社電信	14.0	22.4	8.8	9.0	3.0	8.4	65.6
株式会社DMM Agri Innovation	21.0	36.8	15.2	9.6	3.0	4.3	89.9
国立大学法人広島大学	20.0	28.8	16.8	9.6	5.0	6.2	86.4
株式会社野生動物保護管理事務所	18.0	30.4	13.6	9.6	3.0	4.2	78.8
株式会社ミックス	17.0	24.0	13.6	9.0	5.0	5.6	74.2

※1次審査と2次審査では審査方法が異なるため、評価値のみの単純比較はできません。